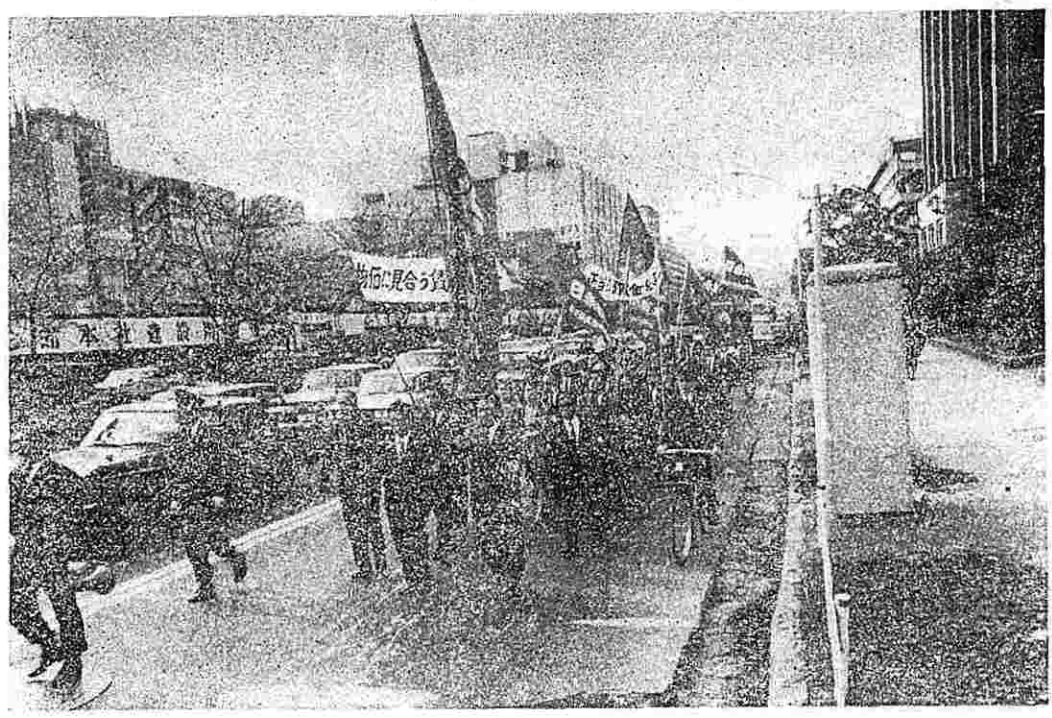


発行所  
日本赤十字  
新労働組合連合会  
(略称「日赤新労」)  
東京都港区西新橋3-14-5  
Tel・東京434-7080  
発行責任者  
山景 勇

# 日赤新労ニュース

綱領  
1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。  
2. 吾々は、常に暴力と独裁を押し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期す。  
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによつて、その人道的任務の達成に寄与する。

## 日赤新労遂に立ちあがる！！



ベア要求に対する本社の卑劣な態度にも、労使協定の基本方針を求めて、隠忍自重をかきねて来た新労は、十月実施を強行しようとする本社に対し、傘下単組全組合員の怒りが爆発し、十一月二十五日の緊急臨時中央委員会(含単組代表)に於て、示威行進を決定することが、満場一致で可決され二十五日午後二時三十分、執行部始め出席、中央委員、単組代表、オプザーバー等五十余名全員、日比谷公園西幸門に集合、組合旗、プラカードをかかげ、執行委員長を先頭に堂々日赤本社前まで示威行進に入り、午後三時十分全員が本社内庭に座り込みを行つた。

これは日赤新労の悲願である、入並の生活、正しい医療の遂行、明るい職場の建設に向つて前進しようとする気持のあらわれであり新労の歴史に輝かしい一頁を飾つたもので、その躍進を物語るものであつた。

### 本社団交に 出席者全員本社に待機

——本社の誠意全く見られず——

二十五日午後四時より行われる予定の本社団交には、中央委員会出席者全員本社に待機し、中央委員会を継続しながら、交渉に入つたのであるが、本社の不誠意から三十五分も遅れて開かれる始末であり、吾々の抗議に対し、陳謝させる一幕もあつた。

交渉に当つては、新労の基本要

### 今後吾々は

どう闘うべきか？

そこで吾々は今後いかに闘つて行くか、この問題について本部ではその後執行委員会を開催し深更に至るまで、討議に討議を重ねた結果、次の重大事項を決定した。

○臨時大会を開催し、その後再度デモ行進を執行する。

○そのためには一入三〇〇円、五〇〇円の資金カンパを要請する。

○これらの実行時期については周囲の状況判断により、三役に一任する。

○単組全組合員に徹底した教宣

活動を実施する。

### 組合員の皆さん

以上の決定に基づき組合員一人一人はその自覚の上に立ち、みんなの利益のため、目的に向つて総力を結集し、最後の闘いをおかちとるべく邁進されんことを強く要望する次第である。

### 臨時中央

### 委員会開催

大詰に入つたベア交渉につき、今後の斗争方針を決定すべく緊急臨時中央委員会が熱海市八丁園ホテルに役員、中央委員、オプザーバー等五十余名参集のもとに開かれ、午前九時から正午まで熱心な審議が繰り広げられたが、要求貫徹に向つて歩を進めるべき示威行進が万場一致で採択され、直ちに行動にうつるため全員十二時三十分発の「こだま」で上京した。